

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	道の駅甲斐大和			検証日	令和7年7月3日	
	所管課 担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	林 正樹	作成者名 水上正英	
	指定管理者	名称	株式会社 エーブレイス				
		代表者	代表取締役 手塚 公彦				
		所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野1811番地				
		指定期間	令和6年(2024年)4月 ~ 令和11年(2029年)3月				
	管理施設の 概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野2248番地				
		設置目的	地域産業の振興と市民の福祉の向上及び都市との交流を図ることを目的に、広く一般のための施設として、道の駅を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	15名	開館日 時間等	○営業時間 売店9:00~18:00、軽食10:00~16:30、レストラン(味処そばの美)11:00~16:00 ○休業日 売店:毎週水曜日(4~11月、3月は無休)、軽食・加工体験施設:毎週水曜日、レストラン(味処そばの美):毎週木曜日(1~2月は木・金曜日)、年末年始
	事業概要	サービス提供の内容					
指定 管理 業務		(1) 経営管理業務 (5) 施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (2) 施設及び設備の維持管理業務 (6) 備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く) (3) 施設利用にあたってのサービス、指導等に関する事 (7) その他施設の管理に関する事 (4) その他日常業務 (8) 業務の報告					
自主 事業	(1) そば切り発祥の郷づくり事業 (4) そば切り発祥の地を巡るスタンプラリーへの協力 (2) うらじろ(オヤマボクチ)を使った特産品開発 (5) 地元を中心とした農家との連携 (3) 市内外の観光イベント出店 (6) 飲料等の自動販売機設置						
DO	管理運営コスト推移 (千円)	令和6年度 (指定期間1年目)	令和7年度 (指定期間2年目)	令和8年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	令和6年度 (指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	2,900				
		営業収入	129,950				
		その他収入	1,930				
		管理運営経費	134,780				
	決算	指定管理料	2,900				
		営業収入	145,962				
		その他収入	2,074				
		管理運営経費	149,600				
	収支	1,336					
施設の移動状況	令和6年度 (指定期間1年目)	令和7年度 (指定期間2年目)	令和8年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	令和6年度 (指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	162,928					
活動結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの活用や市内外の観光イベントへの出店等で確実に知名度を上げている。また、特産品としてのうらじろ饅頭の製造や地元産そばの仕入に対する支援、地域のコンビニエンスストア閉店対策として弁当の製造販売を始めるなど、幅広いニーズに対応する取り組みを行っており、結果として、昨年度より利用者が約9千人増加した。</li> <li>・物価高騰により、光熱水費等が上昇した中でも収入の確保に努め、着実に収益を上げることができた。</li> <li>・貯水槽の修繕には迅速な対応が求められたが、的確に対応することができた。</li> </ul>						
CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1) 事業の運営	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定書に沿った管理運営が行われた。</li> <li>・そば切り発祥の地をPRするため、外部委託しているレストランの仕入れのサポートを行っており、レストランの安定運営やそば生産者の支援に繋がっている。</li> <li>・特産品としてのうらじろ饅頭の製造や地域のコンビニエンスストア閉店対策として弁当の製造販売を始めるなど、幅広いニーズに対応する取り組みを行った。</li> <li>・SNSの活用や市内外の観光イベントへの出店等で広く情報提供を行い、利用者の獲得を図った。</li> </ul>				
	(2) 施設の維持管理	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検、法定点検を着実に実施し、施設の適正な維持管理に努めていた。</li> <li>・倒木により、貯水槽を損壊する事象が発生したが、営業への影響を最小限にするべく、迅速に対応を行った。</li> </ul>				
	(3) 収入支出	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の途中からインボイス制度が導入され、会計処理の変更等があったが、変更後も適正に経理がされている。</li> <li>・物価高騰の影響を受けながら光熱水費が増加していることやキャッシュレス化の推進に伴う決済手数料の増加など経費が高増中で、売店での農産物やワインを中心としたアルコール類の更なる充実や軽食メニューのリニューアル等の収益確保に向けた様々な取り組みが行われ、当初の収支計画を上回る収支結果となった。</li> </ul>				
	(4) 総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	良好						
ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応						
	当面の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で2番目に古い道の駅であり、施設の老朽化が進んでいるため、施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていくことが必要である。</li> </ul>					
	課題解決 への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による日常点検や法定点検の結果等を元に指定管理者と協議を行いつつ、施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていく。早期の対応によりトータルコストの抑制ができる可能性があるものは早期の実施を検討していく。</li> </ul>					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書及び協定書のとおり適切な管理運営がされている。倒木による設備破損の際にも、運営に影響が出ないよう適切な対応をしている。</li> <li>・利用者数が昨年度より約9000人増加しており、SNS等での情報発信の成果が数字に表れている。収支計画についても経費を抑えつつ収入を着実に確保している。</li> <li>・そば切りのPRやうらじろの製造・販売によって地域の魅力を発信しつつ、コンビニエンスストアの閉店対策として弁当の製造・販売を行うなど、幅広いニーズに対応する取り組みを行っている。引き続き地域に根ざした事業運営を行っていただきたい。</li> </ul>							